



令和3年度学校評価アンケート結果について

教頭 朝倉 久美子

12月に実施いたしました学校評価アンケートについてご報告いたします。16の質問項目にそれぞれ4段階で評価をしていただきました。各項目の回答平均値は裏面に載せた表のようになっております。

保護者の皆様からは全体で4.00満点中3.58点という高い評価をいただくことができました。項目別にみると、人権尊重、保護者対応、不祥事防止、教育環境(質問5・14・16・15・13)で特に高い評価をいただいております。一方、地域とふれあう教育、交流や共同学習、ICT活用(質問10・1・11・12)が低めの評価でした。今年度もコロナに振り回された1年ではありましたが、児童生徒の皆さんが登校できなかった日々が多かった昨年度と違い、感染症対策を講しながら教室で授業をおこなうこともできました。残念ながら、地域の方々、保護者の皆様に来校して学校の様子をご覧いただいたりする行事はできませんでしたが、始業式や終業式、実習報告会などの行事、他部門との合同授業、地域の学校や地域の方々との交流は、オンラインのモニター越しに接したり、DVDや手紙など間接的に地域の方のお話を伺ったりする形で実施しました。ICTを活用した授業や行事は、教員側もまだまだ手探り状態ですが、互いにアイデアを出し合い充実させていきたいと考えております。保護者の皆様からも、ご希望やヒントなどいただければ嬉しいです。アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

自己選択・自己決定を大切に(進路の取り組み)

進路担当 井上 二葉

今年度も新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、幸いなことに、高等部3年生の進路に関しては、大よその目安がついています。B(病弱教育)課程3名、E(知的障害教育)高等部13名、G(肢体不自由教育)部門1名の総勢17名が、それぞれの進路へと巣立っていきます。

私たちが進路支援に当たって大切にしてきたのは、生徒本人(及び保護者)の自己選択・自己決定です。福祉サービスに関しては、限られた選択肢の中から選ばざるを得ない厳しい状況がありますが、それでも最終的には、「自己選択」で進路が決まることとなります。

自分で選ぶためには、進路に関するたくさんの情報にアクセスできることが重要です。それを実現するために、今年度心掛けたのが次の2点です。

- ① 生徒に対しては、進路先の見学や実習の機会をできるだけ多く提供する。
- ② 保護者に対しては、説明会、見学会、学習会の機会をできるだけ多く提供する。

コロナ禍のせいで予定のキャンセルや計画変更も強いられましたが、高1生徒の職場体験や保護者進路見学会、保護者進路学習会等、新たな取り組みを企画し、実施することができました。

初めての職場体験では、事前訪問の前日にほとんど眠れないほど緊張しながらも、体験を通じて大きく成長する姿を見せてくれました。また、保護者進路見学会や保護者進路学習会は、予想を超える多くのご参加をいただき、保護者の皆様の熱意を身近に感じました。今後もこのような取り組みを継続し、生徒(保護者)の自己選択・自己決定をバックアップしていきたいと考えています。

令和3年度 学校評価アンケート集計結果



ご協力ありがとうございました。

質問への回答点数…4でできている 3ほぼできている 2あまりできている 1できている 0知らないわからない無回答

職員	保護者
136	201人中
136	152人
100%	76%

学校目標	質問項目	平均点	平均点	わからない
自立と社会参加をめざし、一貫性・系統性のある「秦野らしい」教育課程の整備とそのしくみの確立、および専門性維持向上のための取組を進める。	1 地域を教育の場とし、地域の方とふれあう教育活動を行っている。	3.15	3.33	21.7%
	2 小中高の一貫性を持ち、知肢病3つの教育部門のある総合的な特別支援学校であることを活かした学習内容になっている。	<u>2.87</u>	3.51	18.4%
	3 専門性の向上のための取組や教員同士の学び合いなど、組織的な授業改善を進めている。	3.29	3.58	20.4%
児童生徒の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに配慮しながら、「自己実現」と「共生」をめざした指導・支援を組織的に行う。	4 職員がそれぞれの専門性を発揮し、多面的に児童生徒の実態を把握している。	3.28	3.61	9.9%
	5 児童生徒の「さん」付け呼称やジェンダーフリーなど、児童生徒一人ひとりの人権を尊重した指導を行っている。	3.32	<u>3.77</u>	5.9%
	6 近隣の買物学習、近隣施設や公園、畑の利用などで地域住民と交流したり、部門間で交流したりすることを積極的にやっている。	2.96	3.47	19.1%
	7 生活年齢や発達に合わせ、小中高のつながりや前籍校等との引継ぎ、障害特性を踏まえた授業を計画している。	3.22	3.64	11.2%
	8 地域や企業と連携を図り、現場実習等を活用した児童生徒の将来の自立に向けた授業を実践している。	3.22	3.58	22.4%
	9 適切な進路選択につながるよう、進路見学や面談、進路説明会等をとおして、保護者や児童生徒が求めている進路に関する情報を提供している。	3.36	3.64	13.8%
他者を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、支援教育及びインクルーシブ教育を「地域とともに」推進する。	10 地域、保護者、福祉機関、企業、ボランティア等との協働による学校運営の推進に取り組んでいる。	3.32	3.46	26.3%
	11 自治会等との交流や小中学校の居住地交流、地域の学校との交流及び共同学習に取り組んでいる。	<u>2.98</u>	3.30	33.6%
	12 ICTを活用した学習、オンラインで他校や他機関と交流や学習を積極的に行っている。	3.32	<u>3.29</u>	35.5%
	13 保護者が子どもたちを学校に通わせたいと思う学校となっている。	<u>3.36</u>	3.67	3.3%
保護者、地域、関係機関等から「信頼される学校」をめざし、児童生徒が安全に安心して過ごせる教育環境を整備する。	14 職員は保護者に丁寧な対応をしている。	3.44	3.75	0.7%
	15 学校は児童生徒が安全で安心して過ごせる環境を整えている。	3.44	3.68	3.3%
	16 学校は事故不祥事防止にしっかりと取り組んでいる。	3.52	3.75	13.8%
	平均点	3.26	3.58	16.2%

